

令和2年度第2回

秦野市都市計画審議会（書面会議） 議事要旨（意見一覧）

開催期間 令和3年2月22日（月）
～令和3年3月19日（金）

出席委員（◎会長、○副会長）（敬称略）

福森真司、高橋文雄、八尋伸二、中村英仁、◎梶田佳孝、○勝田 悟、
宮永 均、佐野友保、関野高弘、藤村和静、金子茂浩、竹田 茂、
相原久彦、柳川太郎、熊澤庄市 15名

事務局等出席者

都市部長 高橋 正道

都市部まちづくり計画課担当参事（兼）課長 小谷 幹夫

都市部まちづくり計画課担当課長（兼）課長代理（都市計画担当）佐藤 靖浩

都市部まちづくり計画課課長代理（都市総務担当）伊丹 智栄

都市部まちづくり計画課主査 清水 秀一

都市部まちづくり計画課主任技師 倉田 祐行

都市部まちづくり計画課主任技師 永井 孝志

会議内容

1 諮問

2 議事

(1) 諮問事項

議案第2号 秦野市都市マスタープランの改定について

第2回都市計画審議会（書面会議）意見等一覧

No.	意見等	対応及び計画への反映	委員名
1	<p>昨今、交通（公共交通含む）や環境に関する技術革新は著しく、数年で新たな技術が生み出され市場に投入されることも珍しくない。</p> <p>このような世界的な技術革新の過渡期にある中で、画一的な将来像を捉えることは非常に困難である。しかしながら、受け身となった場合、世の中の変化に追従できないことが懸念される。</p> <p>第2章の5のタイトル「都市を取り巻く環境の変化」とされているが、新技術などに対し前向きに取り組んでいくという意味合いを含めて、「〇〇に向けて」のような表現が望ましいのではないかと。</p>	<p>いただいた御意見を参考に修正しました。</p>	八尋委員
2	<p>コンパクトシティの実現については、SDGsの理念を踏まえ、自然環境や地域住民に配慮して丁寧に取り組んでいただきたい。</p>	<p>いただいた御意見を参考に計画を推進していきます。</p>	中村委員
3	<p>人口減少や少子高齢化の進行という従来からの課題のうえに、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う働き方や生活様式の変化も加え、今という時代を反映した都市マスタープランになったと思います。</p>	<p>—</p>	関野委員
4	<p>P37 イ（ア）復興まちづくりの事前準備について、具体的な取組内容を記載したほうがよいと思います。</p> <p>P46～80 地区別まちづくりの方針</p>	<p>関係する個別計画において具体的な取組内容を記載し、計画の実現に努めていきます。</p>	相原委員

	<p>(4)エ(本町地区、西地区) P36の4 (2)ア～ウには、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりの方針の施策が記載されていますが、地区別まちづくりの方針(4)エ{本町地区(ア)、西地区(イ)}について、いずれの施策を進めていくのか具体的にわかりやすく記載したほうがよいと思います。</p>		
5	<p>SDGsの理念を踏まえ、計画に取り組んでもらいたい。</p>	<p>いただいた御意見を参考に計画を推進していきます。</p>	高橋委員
6	<p>表丹沢魅力づくり構想や新東名高速道路、里地、里山などの地域資源を最大限に活用してもらいたい。</p>	<p>都市マスタープランの方針に沿って、関係各課とも連携を図っていきます。</p>	高橋委員